

～大正浪漫～ 宮越家離れ・庭園ものがたり

昨年12月に町文化財に指定された「宮越家離れ」(建造物)、「宮越家庭園」(名勝)の報道公開が5月20日(月)に行われました。

大正9年築の「離れ」は、小ぶりながらも瀟洒な佇まいをみせる平屋建物です。我が国におけるステンドグラスの先駆者小川三知作品をはじめ、建具や調度にも贅が凝らされています。

「庭園」は、枯山水庭園・池泉庭園などから構成され、大正時代の庭園としては県内最大クラスであることなどが評価され、指定されました。中泊町では、今年から保存整備を進め、地区100周年を迎える令和2年の一般公開を目指しています。

5月20日(月)は報道公開のほかに、第一目の「宮越家住宅・資料保存活用検討委員会」が開催され、今後の保存整備を話し合いました。



十三湖を連想させる円窓



左手にアジサイ、右手にコブシの木



カワヤナギに止まるカワセミとアヤマ



第1回検討委員会の様子

